

八雲町移住体験住宅滞在記

2012/8/2～16

団塊の世代の私たちには「北海道」というキーワードには思い入れがあります。学生時代には放浪にあこがれ、世界へは出れなくとも「北海道」へ出かけて、何日も電車に乗ったり無人駅に泊まったりそこで知り合った人たちと酒を飲む。そんな事をやった人たちがゴマンといました。

卒業して社会人になって団塊世代同士で集まった時「俺も行ったよ 北海道」と話のつながる人たちが沢山いて仕事もうまくいった事も有りました。

そんな我々が定年退職した後また「あこがれの北海道」に出かけたくなるのは必然でした。そして、暮らすように少し長く滞在を願って「移住体験住宅」に応募してみましたが当然競争が激しく（団塊の世代は競争が厳しい）偶々有ったキャンセルに飛び込んで今回の滞在体験が成就しました。

正直に言うと八雲町でなければ嫌だった訳ではありません。北海道でちょっとした滞在が出来て余程気に入ったら夏の間だけ住む場所として考えても良いかなと思っていました。それが滞在15日目に帰るときにはもうチョッと居たいなと思い、帰ってから写真を見てユーラップ川のサケの遡上を見に行こうかなと、飛行機の時刻表を調べたり雪が多いと聞いたがどれ位なのかと興味を持っている、八雲町のファンになっている事に気がつきました。



滞在した体験住宅。

灯油タンクが外にあり給湯や暖房がこれで賄われる。屋根に見える煙突は室内に繋がっていません。洗濯物は脱水後室内で乾燥。冬場の事が予想される。

夏の八雲はほんの少し体験しましたがとても良い処です。真夏でも、気温はそれほど暑くなく日陰に入れば涼しい風が海から吹き、朝夕はカラッと乾燥した感じで爽やか。過ごしやすかったです。雨の日もありました。そんな日でも買い物はそんなに歩かずに済み「ちょうど良い田舎」をそのまま感じる事が出来ました。実際、ドライブで後志方面へ行きやはりその辺に住んでいる人と会話したところ、買い物に車でお店まで15分から30分かかる（北海道の、車で15分とは15キロ以上離れていると言う事です）と聞くと、買い物に計画性のない都会人には住み心地が悪そうでした。



お金のない引退者にも日々の暮らしに刺激が必要で、スポーツを楽しみました。冬の体験は無いのですが夏はパークゴルフが定番でしょう。内地ではやった事が無く耳学問で知った北海道の夏の定番スポーツを楽しみにしていました。八雲町には無料のパークゴルフ場と無料の用具貸出し施設があり、総合体育館で用具を借りユウラップ川のほとりのパークゴルフ場で初めてのパークゴルフを体験しました。私たち夫婦以外誰もいないコースをノンビリと廻りました。その横の駐車場に何台か車が来て子供連れがコースを横切り奥の方へ入って行きました。パークゴルフを一息ついて皆さんの行く方へ行ってみるとなんと「人魚」がいてその先にユウラップ川が流れ、皆さん川遊びの真っ盛り。

この川の上流には、今回行って見る事が出来なかったが「サケ・マス資源管理センター」が有って養殖事業もやって居るらしい。秋には鮭がたくさん上がって来るらしく、その後行った公民館に飾ってある写真で見ることができたが実際の姿を見たいと思いました。ゴルフと川遊びの後、道具を返し、町役場から線路を渡ってすぐのお蕎麦屋へ行きました。北海道産のそば粉の手打ちそばに興味があり、八雲町ではそば打ち体験ができると聞いていたのですが今回はチャンスが無くその蕎麦屋さんで味を確かめる事にしました。



この川の上流には、今回行って見る事が出来なかったが「サケ・マス資源管理センター」が有って養殖事業もやって居るらしい。秋には鮭がたくさん上がって来るらしく、その後行った公民館に飾ってある写真で見ることができたが実際の姿を見たいと思いました。ゴルフと川遊びの後、道具を返し、町役場から線路を渡ってすぐのお蕎麦屋へ行きました。北海道産のそば粉の手打ちそばに興味があり、八雲町ではそば打ち体験ができると聞いていたのですが今回はチャンスが無くその蕎麦屋さんで味を確かめる事にしました。



なかなか美味しいおそばで、お出汁も北国っぽく濃すぎることもなく程よい量で満足でした。お店の人とお話すると、この方も苫小牧から八雲へ移住してきた先輩のようでした。

八雲の夏のスポーツはサッカーが盛んで、スポーツ公園にある全面に芝生のサッカー場で北海道各地からの中学生選手が集まって大会があるようです。プロのように芝生の上をスライディングしたりして白熱の試合が行われるのでしょう。そして同じスポーツ公園内に

無料で使えるテニスコートも有って私も最初一人で壁打ちテニスをしていました。ほかのコートでやって居る人からご親切に仲間に入るように誘われて、合同練習にも入れてもらいました。八雲の人たちはとても親切です。お話ではテニスは、冬は出来ないのでテニス人口が少ないのだそうです。夏もコートは混んでいない様でいつ来ても使えるとか。東京では考えられない余裕です。それと無料なのがとても良い。冬はスキーが定番でしょう。春、秋は山歩きでしょうか？でもヒグマが怖い。すべて体験してみたくまりました。

札幌から函館方面に道央自動車道が伸びてきています。今は落部までですがもうすぐ大沼までつながるようです。八雲には、インターチェンジとパーキングエリアが有って一般道と共通の施設として「噴火湾パノラマパーク」があります。ここは八雲滞在中お天気の良い日に何度も行った施設です。見晴らしの良い芝生の上に寝転んで海と陸地の接点や空と海のつながりを見ているだけで気持ちがおおらかになる気分がしたものです。



冬はここがすべて雪に覆われて一面真っ白な世界になるでしょう。

そのほか、沢山の体験が出来ました。山奥の温泉から海が見える露天風呂まで温泉にもたくさん入りました。噴火湾で獲れたマグロ、その他の地物鮮魚もたくさん戴きました。美味しい肉もアイスクリームも野菜も戴きました。グルメレストランにも行きました。しかし、今思い出しても二週間の滞在は短く、不完全燃焼の気分で次回の八雲訪問を思いながらこの滞在記を終わります。